

表1 COMPAS マニュアルによる対応と評価（続き）

項目	対応の実際	評価（指導結果、生徒の変化）
<p>1 自己肯定感を高める 本人の悩みへの対応</p> <p>できることを伸ばす</p> <p>賞賛</p>	<p>悩みの内容は？ 友達同士の付き合い方がわからない 周りから明るいキャラクターを期待され疲れる 衝動が抑えられない。 高校に進学できない不安 伸ばしたい能力・活動と指導方法？ 積極的に発言したり、周囲に気軽に声をかけたりする 表現力が豊かで、イラストや詩などに表わす ほめる行動は何か？ 授業への適切な参加態度(自己評価カード参照) 授業に関係することを積極的に発言すること</p>	<p>悩みに対応できたか 気分が落ち込んでいる時は、自分から保健室に行くことができた。 保健室では、養護教諭に悩みを話し、気分転換すると次の活動に参加した 将来の自分をイメージして学習に取り組もうとする姿が見られた。 指導結果は？ 行事の時、学級をまとめようと、同級生に声をかけた 学年通信や学校便りにイラストを掲載し励みになった ほめることができたか 授業中や授業終了後にできたことを評価した よい発言を認めたり、積極的に発表したことを評価した</p>
<p>2 支援チーム</p>	<p>支援チームの設置の有無とメンバー？ 設置した（学級担任、学年主任、特別支援コーディネーター、スクールカウンセラー）</p>	<p>支援会議開催の回数と内容は？ 月1回開催した。学期一回程度、保護者も交えて話し合った</p>
<p>3 対応マニュアルの作成</p>	<p>対応マニュアルを作成したか？ 個別の指導計画を作成した</p>	<p>マニュアルの活用と成果は？ 活用：支援会議の際に評価した 成果：記録をとることで、問題行動を分析・対応できた</p>
<p>4 授業のルール決定 話し合いによるルール決定</p> <p>対応の基本</p> <p>学習スケジュール表の導入</p>	<p>話し合いの状況ときめたルールは？ 今までの行動を深刻に受け止め、今後の目標をきめた（図2） 生徒への対応の仕方は？ 定期的に相談し、目標の確認や本人の努力を認めた 作成した教科と表の内容？ 数学（図1）</p>	<p>どのようにルールを提示したか。そのルールは守れたか？ 自己評価カードにまとめた（図2） 席について学習することが定着した（図4） 実施できたか？ 必要に応じて実施した。数学では定期的に実施した 実施結果と効果？ 自主的に課題に取り組み集中する時間が長くなった（図4）</p>
<p>5 自己解決法 問題の自己認識</p> <p>自己解決</p>	<p>問題をどう認識したか？ 衝動的に離席や私語があることには気づいていた どのような目標をきめたか。 必要とされる支援（学習への支援）は何か？</p>	<p>自己認識の変化は？ 自己評価カードにより自分自身で気づき、改善していこうとした（図5） 目標の達成状況？学習支援の成果は？</p>

<p>違反行為への説明と対応</p>	<p>補助プリント(図3) 自己評価表(図2) 違反行為への対応の内容は (タイムアウトの内容、担当者など)? 授業中3回注意をされ反抗的 になったら家庭に連絡し迎え に来てもらう。</p>	<p>取り組む課題が明確になり、課題従 事行動が増加した(図) 実施結果と効果(タイムアウト、保 護者による指導など)は?  10月末までに3回実施した。その後、 違反行為は見られなかった</p>
<p>6 保護者による対応 学校の対応の説明</p> <p>保護者による対応</p>	<p>説明内容は?  授業妨害、対人トラブルなど、 学校生活における問題行動に ついて 生徒の特性について</p> <p>保護者が同意した対応は? 自己評価カード、トークンエ コノミー法、タイムアウト 学校と家庭が定期的に連絡を とり、情報を共有する パニックを起こしたときは迎 えに来てもらう</p>	<p>説明に対する保護者の認識と変化 は? 父親は学校の説明内容を受け入れ協 力した 母親は、結果を即座に求める傾向が 強く、理解には時間がかかったが、 対応は受け入れた 対応の実施結果は? 目標を達成したときバックアップ強 化子を与えた 保護者の協力により授業に必要な学 用品がそろうようになった。学習意 欲の向上に役立った 3回父親が迎えに来た</p>